

TOTO

台所用シングルレバー混合栓

TK51A型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。



⑨は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。

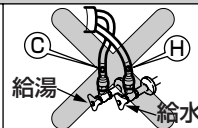


⑩は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

警告

湯水を逆に配管しない

水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。



禁止

給湯温度は85℃より高温で使用しない

85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



寒冷地用

水抜コックは水抜き以外の目的で開けない

水抜コックをいきなり開けると高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



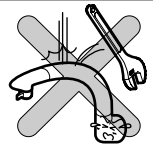
分解禁止

この説明書に記載された項目以外は、分解・改造しない
破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

注意

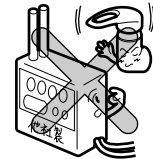
強い力や衝撃を与えない

破損して、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



他社の浄水器およびイオン水生成器に取り付けしない

本商品はTOTO浄水器(TK300B型、TK301B型)およびイオン水生成器(TEK511B2型)専用水栓です。取り付けの際は、この説明書と共に浄水器およびイオン水生成器の取扱説明書や施工説明書をよくお読みのうえ、取り付けてください。各説明書に記載の、種々の傷害および物的損害が発生することがあります。



禁止

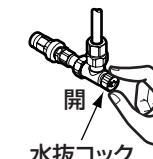
浄水器・イオン水生成器用

凍結が予想される場所には設置しない

部品が破損し、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



必ず実行

凍結が予想される場所で使用する場合は、配管部などに保温材を巻く
また、寒冷地用の場合は、「9 寒冷地用の水抜き方法」を参照し、凍結予防を確実にを行う

部品が破損し、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

2 仕様

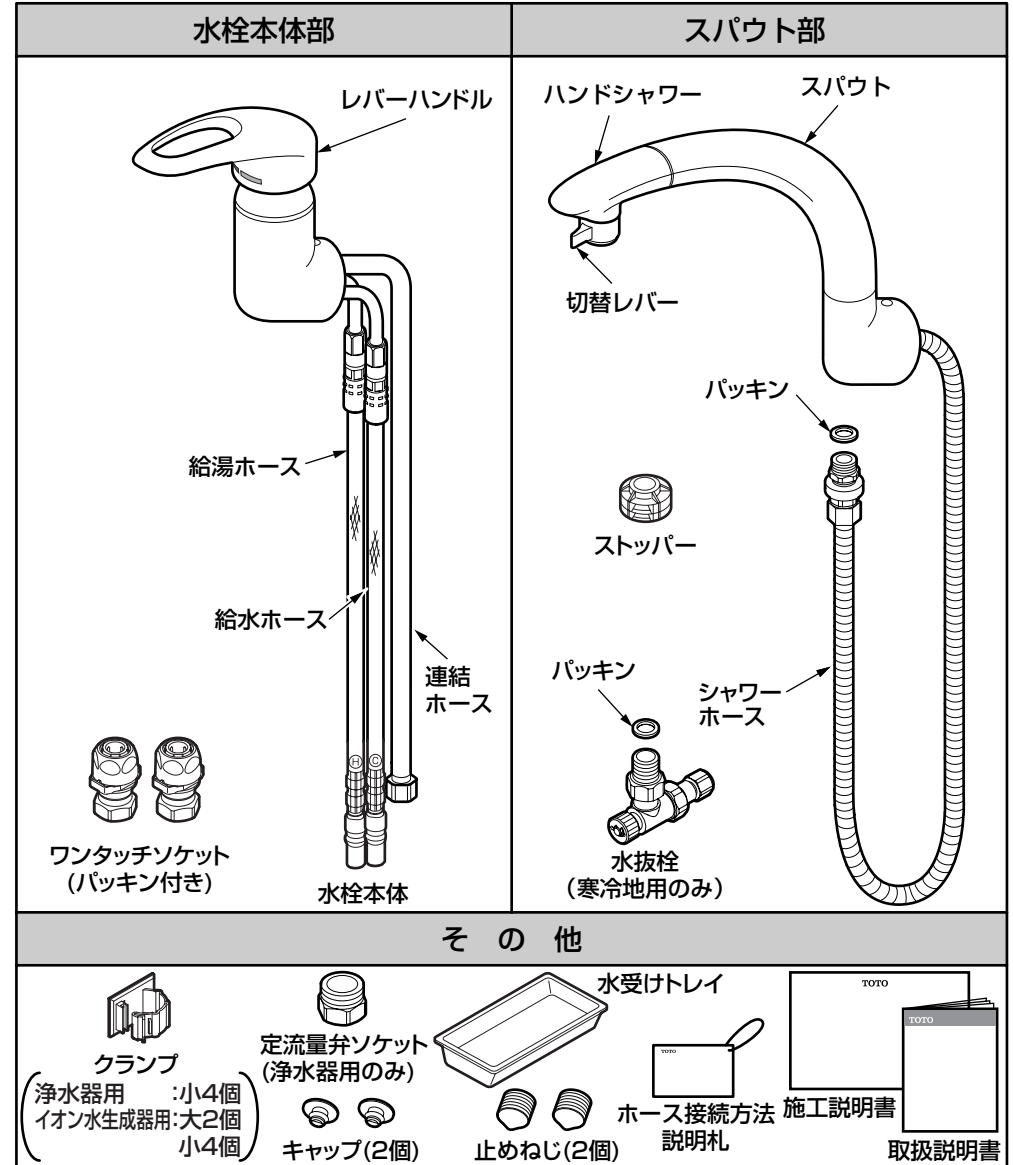
給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.05MPa(流動圧)
	最高水圧	0.75MPa(静水圧)
使用最高温度	給水(浄水)	35℃以下
	給湯	85℃以下
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度	一般地用	1~40℃
	寒冷地用	-20~40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)
用途		一般住宅台所用

3 取り付け前に

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2~0.3MPa程度に減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2~0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
- 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
- 誤操作などによるやけど防止のため、60℃給湯をおすすめします。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 水勢調節および器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ずご用意ください。
<止水栓推奨位置> ・高さ方向：床から480mm
・水平方向：給水(本体より右に270mm)
給湯(本体より左に170mm)
- 浄水器用の場合、下記を参考にして、浄水器の取付場所を選定してください。
※混合栓の下部(流し台下)で、既設の配管にぶつからない場所。
※混合栓から付属のホースで、設置可能な場所。
※ねじや両面テープで、取付台及びカートリッジ本体を十分に支えられる場所。
(TK300B型のみ)
- イオン水生成器(TEK511B2型)を接続する場合は、イオン水生成器の施工説明書を参照してください。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。

4 部品の確認

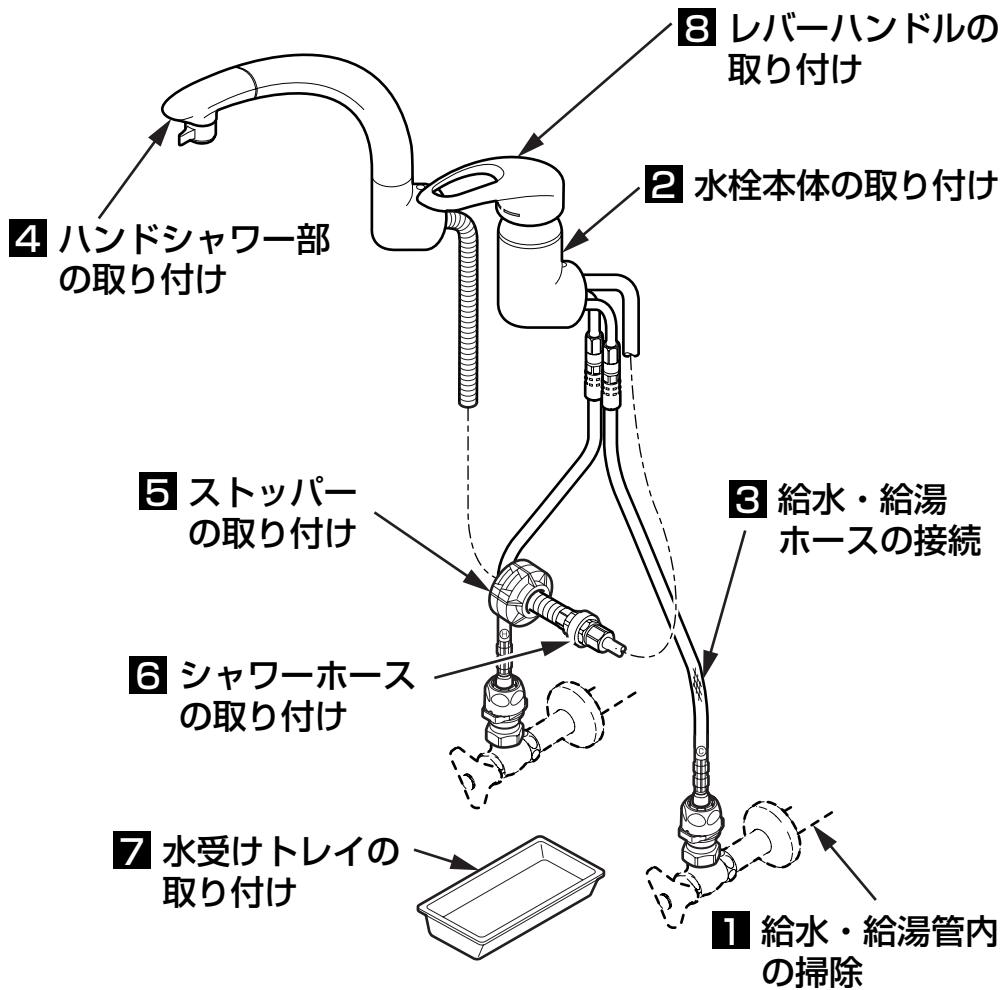
次の部品があることを確認してください。



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

※取付金具はキャビネット側にセットしており、水栓には同梱しておりません。

裏面へつづく



1 給水・給湯管内の掃除

取り付ける前に **必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

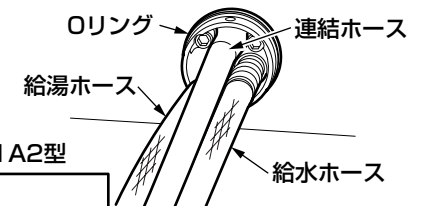
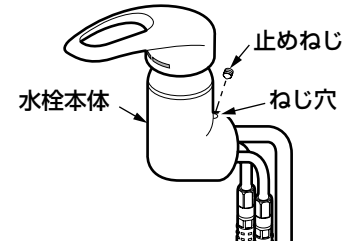
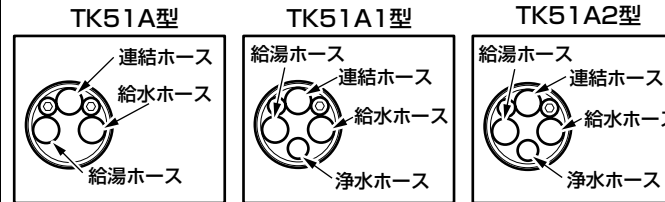
重要

2-1 水栓本体の取り付け

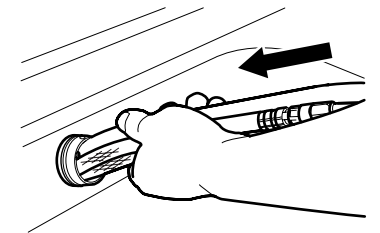
- ① 止めねじを水栓本体のねじ穴に仮ねじ込みする。ねじは、内側に出ないようにする。
- ② シンクの取付金具のOリングにごみなどがついてないことを確認する。
- ③ 給水・給湯ホースと連結ホースなどをそろえてシンクに向かって右側の取付金具に挿入する。

注意

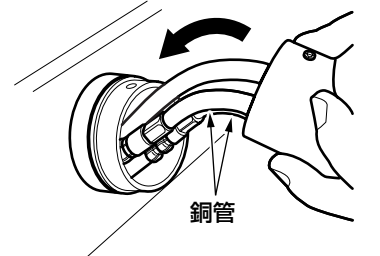
ホースは交差しないようにそろえて挿入してください。



- ④ ホース先端がキャビネットに当たりますので、なるべくホース先端が下向きになるように手でホースを送り込みながら、挿入する。



- ④ 給水・給湯ホースが銅管につながるところまで挿入できたら、本体をささえながら銅管の曲がりに沿うように本体を押し込む。



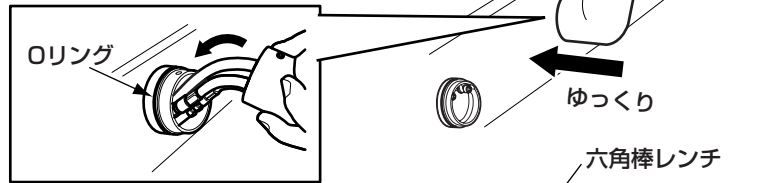
次頁へつづく

6-2

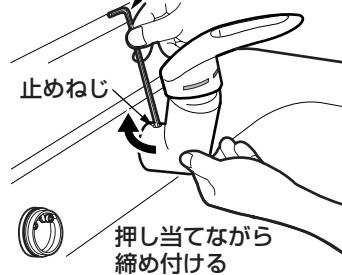
2-2

⑥本体が取付金具まで挿入できたら、本体の根元がシンクに接するまで取付金具にゆっくり押し込む。

※入りにくい場合は、取付金具のOリングに水などをつけると入りやすくなります。



⑦本体の向きを合わせて本体をシンクに押し当てたまま、六角棒レンチの長い方を使って止めねじを締め付ける。

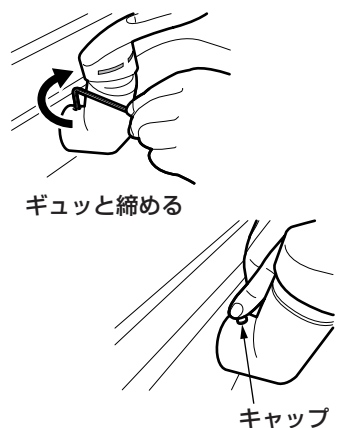
**注意**

締め付け後、本体がまっすぐに取り付けられていることを確認ください。

⑧六角棒レンチの短い方を使って増締めして確実に固定する。その後、止めねじのキャップを押し込む。

注意

本体が確実に固定され、ガタがないことを確認ください。



3 給水・給湯ホースの接続

①ワンタッチソケットを止水栓に固定する。

注意

ワンタッチソケットに貼られたシールをはがさないで取り付けください。そのままでもホースを差し込みます。

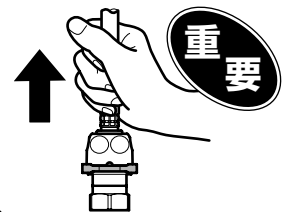
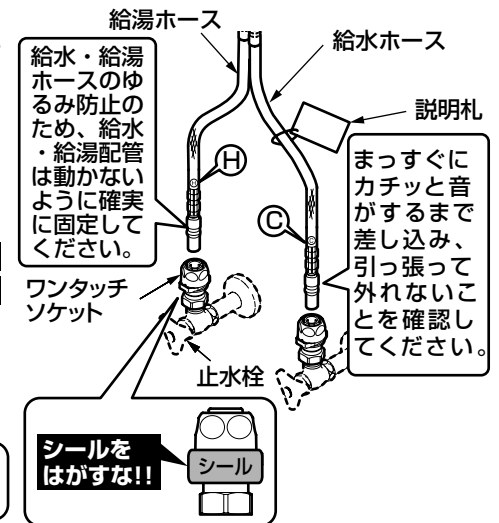
②給水・給湯ホースに異物の付着がないことを確認し、ワンタッチソケットにまっすぐ奥まで（カチッと音がするまで）確実に差し込む。

確実に差し込まれていない場合、水漏れの原因となります。

この際、同梱の「ホースの接続方法」の説明札を必ずホースに通してください。

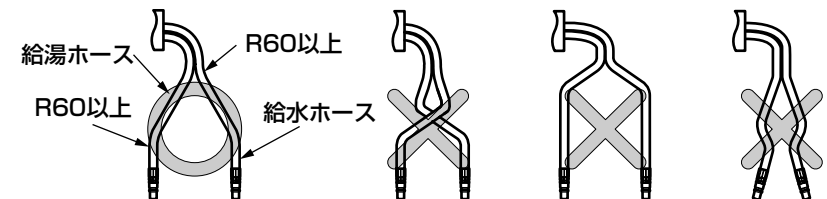
③ホースをまっすぐ引っ張って外れない（抜けない）ことを必ず確認する。

施工後、万一給水ホースを外した場合は、「ホースの接続方法」の説明札を確認のうえ、必ずワンタッチソケットと給水ホース内の残水を抜いてから給水ホースを差し込んでください。



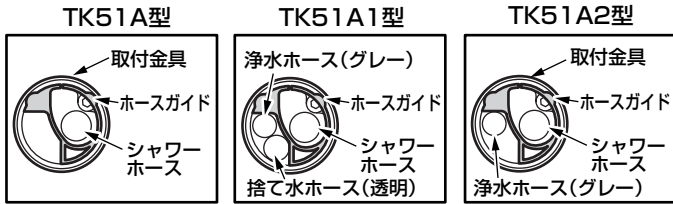
給水・給湯ホース施工上の注意点

- ホースを必要以上の力で曲げて折らないように注意してください。ホースの最小曲げ半径は60mmです。それよりも小さく曲げて使用しますと、十分な流量が出ない場合や破損・水漏れのおそれがあります。
- ホースを水栓本体端面から極端に屈曲して施工しないでください。
- ホースを無理に引っ張らないでください。ホースが折れる可能性があります。
- ホース同士の不要な接触は避けてください。外部補強層の摩擦による外傷でホース性能の劣化の可能性があります。

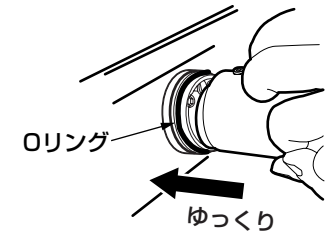


4 ハンドシャワー部の取り付け

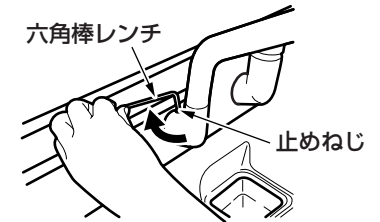
①本体と同様に止めねじを仮ねじ込み後、向かって左側の取付金具に挿入する。
シャワーホースをほぼ挿入したところでホースガイドを取付金具の形状に合わせて差し込む。



②ハンドシャワー部を根元部がシンクに接するまで取付金具にゆっくり押し込む。
※入りにくい場合は、取付金具のOリングに水などをつけると入りやすくなります。



③ハンドシャワー部の向きを合わせてハンドシャワー部をシンクに押し当てたまま、「2 水栓本体の取り付け」の⑦⑧と同様に六角棒レンチで止めねじを締め付けたあと、キャップを押し込む。

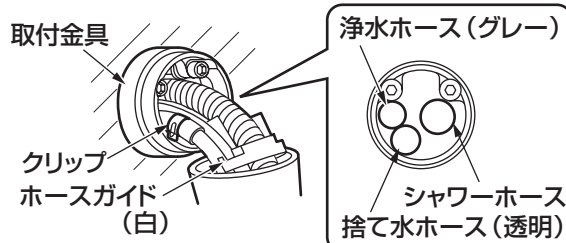


イオン水生成器用(TK51A1型)施工上の注意点

捨て水ホースが施工時に折れ曲がらないように挿入してください。折れると、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。また、イオン水生成器の故障のおそれがあります。

1. ホース位置の確認

3本のホースを浄水ホース(グレー)のクリップまでほぼ挿入したところで、取付金具正面から見て、3本のホースが右図の位置になっているか確認、調整する。



2. ホースガイドの差込み

取付金具の形状に合わせて、ホースガイド(白)を差し込む。



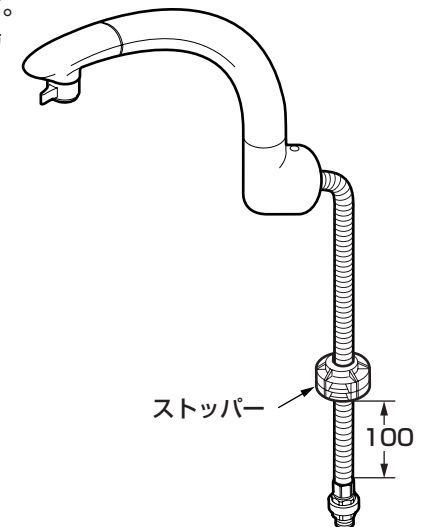
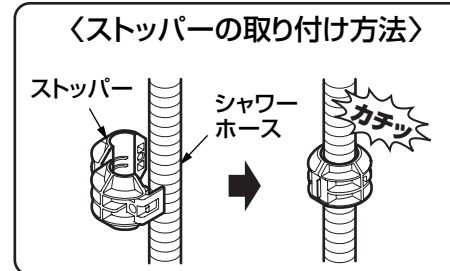
3. ホースの差込み

捨て水ホース(透明)が折れ曲がらないように、慎重にホースガイド(白)に差し込む。



5 ストッパーの取り付け

右図の位置にストッパーをカチッとはめ込む。
※ホースを引き出したとき、ゆとりがない場合は適当にずらしてください。



裏面へつづく

6 シャワーホースの取り付け

一般地用の場合

連結ホースにシャワーホースを接続する。

注意

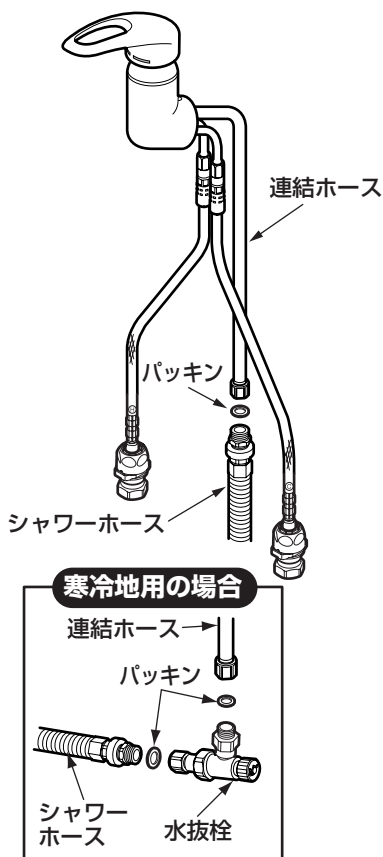
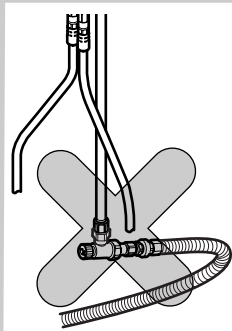
パッキンをなくさないように注意してください。

寒冷地用の場合

- ①シャワーホースを水抜栓に接続する。
- ②連結ホースに水抜栓を接続する。

注意

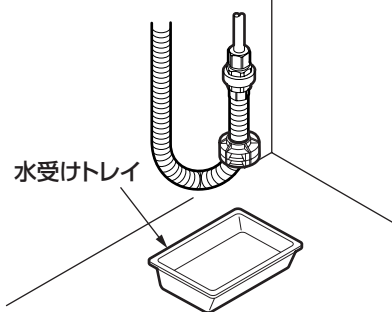
シャワーホースの水抜栓の取付方向に注意してください。(シャワーホースが曲がっていたら直してください)



7 水受けトレイの取り付け

水受けトレイは、万一、ホースの伝い水がキャビネット内に落ちた場合の受け皿となります。

- ①キャビネット床面のごみ、ほこりを取り除く。
- ②水受けトレイ底面の接着テープの紙をはがし、キャビネット床面に強く押し付けて固定する。
※できるだけシャワーホースの真下に設置してください。



8 レバーハンドルの取り付け

- ①ストッパーの浮きや外れがないか確認する。
※浮きや外れがある場合はカートリッジ側凸部とストッパー側凹部を合わせて押し込んでください。

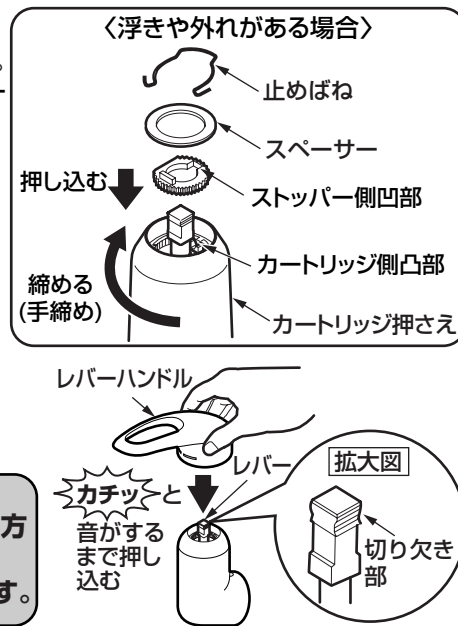


※カートリッジ押さえの歯とストッパーの歯が合わないときは、カートリッジ押さえを **締め込む方向** にて歯を合わせるように調整してください。

- ②レバーハンドルとレバーの方向に注意し、押し込む。
- ③レバーハンドルが容易に抜けないことを確認する。

注意

レバーハンドルとレバーの切り欠きとの方に注意してください。レバーの切り欠きは **両サイド** にあります。



TK51A1型(イオン水生成器用) およびTK51A2型(浄水器用)の場合は、同梱のイオン水生成器または浄水器の施工説明書を参照のうえ、接続してください。

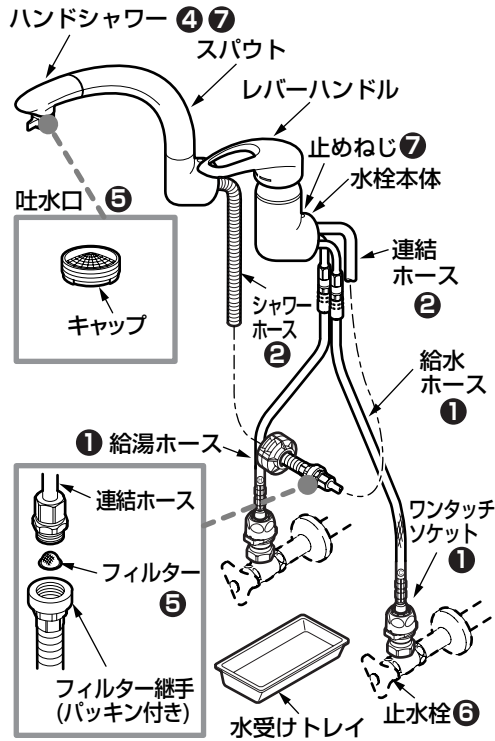
7 使用上の注意

ご使用中に以下のような現象が発生することがありますが、**故障ではありません**。お客様に十分にご説明ください。

現象	説明
急に湯・水を止めると、ハンドル操作が重く感じる。	急に水を止めると、「ドン」といった不快な音が発生することがあります。この商品は、急なハンドル操作をしたときに抵抗をもたせることで、この不快な現象を低減させる機構がはたしているため、故障ではありません。
使いはじめに比べて、しばらく使用すると、ハンドル操作が重く感じる。	ご使用により商品内部の部品がなじみ、安定したことによるもので、故障ではありません。

8 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

① 給水・給湯ホースはワンタッチソケットにしっかり差し込まれていますか？

→ 6-2-3 「給水・給湯ホースの接続」参照

② シャワーホースは連結ホースに確実に締め付けられていますか？

→ 6-4-6 「シャワーホースの取り付け」参照

寒冷地用の場合

③ 水抜コックは、しっかり閉まっていますか？

→ 水抜コックを閉める。 ③ 水抜コック 閉

動作確認

ハンドシャワーがスムーズに引き出せるか確認してください。

④ ハンドシャワーはシンクの先端付近まで引き出せますか？

→ シャワーホースが止水栓などに干渉していないか確認する。

流量および吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

⑤ 吐水口・フィルターのごみ詰まりはないですか？

→ 吐水口・フィルターの掃除をする。

⑥ 止水栓は開いていますか？

→ 止水栓で流量を調節する。 多くなる 少なくなる

水出し確認

配管部の元栓を開け、吐水口から水が出るか確認してください。

ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

⑦ 水栓本体およびハンドシャワー部の止めねじは確実に締め付けていますか？

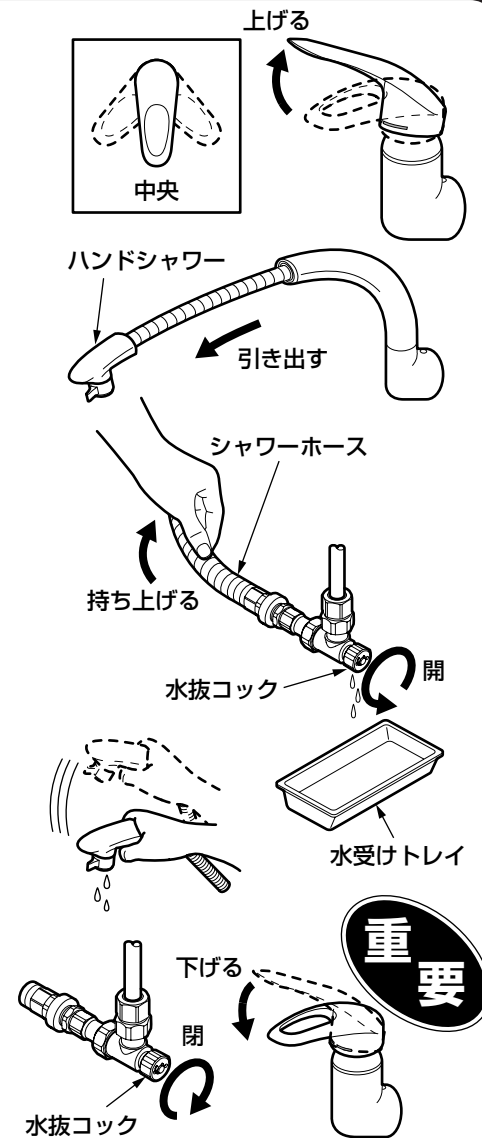
→ 6-1-2 「水栓本体の取り付け」参照

→ 6-3-4 「ハンドシャワー部の取り付け」参照

9 寒冷地用の水抜き方法

凍結のおそれのある時期に施工された場合は、水抜きを行っておいください。またお客様にも水抜き方法をご説明ください。

1. 配管部の水抜栓などにより通水を止めて、水抜きを行う。
2. レバーハンドルを中央位置で上げる。
3. ハンドシャワーをストップするまで引き出す。
4. 水抜コックの下に水受けトレイを用意し、水抜コックを開ける。
5. シャワーホースを持ち上げ、ホース内の水を抜く。
6. ハンドシャワーをよく振って水を切ってからシンクの底に置く。
7. 水抜き完了後は、必ず水抜コックを閉め、レバーハンドルを下げる。(水が出ない状態)



※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

再生紙を使用しています。